

原子力エネルギー
温暖化防止に有用

仏の環境専門家
青森で講演

フランスの環境問題専門家、ブルーノ・コンビ氏が三十日、青森市のア



原子力エネルギーのメリットを強調するコンビ氏

ラスカ会館で講演し、地球環境問題に対する原子力エネルギーの有用性を強調した。

講演会は「原子力の日」を記念して日本原子力文化振興財団が主催した。「エコロジーと原子力」

と題して講演したコンビ氏は、炭酸ガス排出による地球温暖化が現代の最大の地球環境問題であり、環境悪化を食い止めるために何より必要なのは化石燃料の使用を控えることと指摘。

原発の段階的廃止を決めたドイツ、スウェーデ

BSE対策見直し 青森で意見交換会

12月に食品安全委

内閣府の食品安全委員会は十二月九日、青森市で牛海綿状脳症(BSE)

ンでも脱原発は進んでいない実情を紹介した上で、「先進国が必要な大量のエネルギーをクリーンに生み出せるのは原子力。放射性廃棄物の問題も誇張され過ぎており、きちんと扱えば危険ではない」と訴えた。

対策の見直しについて意見交換会を開く。

全頭検査の緩和などについて関係者の意見を幅広く反映させるのが狙い。事前申し込みによって一般参加できる。十一